



静岡県教育委員会  
教育広報紙

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

# Eジャーナルしずおか

平成31年(2019年)  
3月5日  
火曜日  
第209号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui\_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

## 全国高等学校ビブリオバトル優勝

静岡県代表  
富士宮西高校 遠藤 駿介さん

おめでとう!!



高校生がお薦めの本の魅力を紹介し、聴衆が最も読みたくなった本を決める「マイナビ第5回全国高等学校ビブリオバトル決勝大会」(活字文化推進会議主催、読売新聞社主管、マイナビ特別協賛)が東京都千代田区のみより大手町ホールで行われ、静岡県代表の遠藤駿介さん(富士宮西高校2年)が全国約900校の生徒が参加した中から見事優勝しました!

### 紹介本

「最後のトリック」(深水黎一郎著、河出書房新社)



最後まで読むと読書自身が犯人になってしまうというミステリー小説。「犯人になるもんか」と思って読んでいても最後は犯人になってしまう。「人を殺す罪悪感と犯人になってしまった敗北感が衝撃となって自分に降りかかってくる」  
《遠藤駿介さんの紹介より》

## 春休みにもLINE相談を実施!その他の相談窓口も紹介します

県では、春休みにもLINE相談を実施します。

本県の自殺者数全体が減少傾向にある中、全体に占める若年層の割合が増えており、将来ある若者の自殺対策は重要な課題となっています。夏休みにLINE相談を実施したところ、多くの方から相談がありました。そこで、春休み明け前後にも自殺者が多くなることから、春休み明け前にも相談員を増員し、LINEでの相談を実施します。

相談日/3月20日(水)~31日(日)のうち23日(土)、24日(日)を除く10日間  
相談時間/15:00~21:00

LINEアプリの「その他」→「友だち追加」から「QRコード」又は「ID検索」で友だちを追加して相談メッセージを送信してください。相談は無料です。  
ID検索 @kzy3010g



また、LINE相談の他にもたくさんの相談窓口があります。

- 若者休日夜間あんしん電話 ☎0120-8349-07  
月曜~金曜 16:00~翌朝9:00(土日祝日及び年末年始は24時間対応)
- 若者こころの悩み相談窓口 ☎054-285-7522  
月曜~金曜 9:00~16:00(土日祝日及び年末年始は除く)
- 24時間子供SOSダイヤル ☎0120-0-78310  
対象者:小学生、中学生、高校生及びその保護者
- 青少年の悩み相談/保護者との教育相談・悩み相談  
ハロー電話「ともしび」 平日9時~17時  
沼津:☎055-931-8686 静岡:☎054-289-8686  
掛川:☎0537-24-8686 浜松:☎053-471-8686
- 総合教育センターの面接相談 ☎0537-24-9738  
他にも公的機関や民間機関での相談窓口があります。

詳しくは [ふじのくにマップ](#) 検索

「新年度が始まるのが怖い」「身近な人に相談しにくい」「一人では解決できない」…。そんな時、自分の気持ちを話せる相談窓口があります。相談は無料です。

学校や家庭で話せない内容を「相談できる場所」が社会にあることを知ってください。  
早期解決に向けて窓口の周知にご協力願います。



## 『人権』から考える『学校づくり』—学校で守られるべき権利を尊重する—

平成29・30年度は、三島市立山田小学校と県立新居高等学校の2校が人権教育研究指定校としての実践に取り組みました。「人権」という言葉は一見難しく感じられるかもしれませんが、しかし、みんなが学校で大切にしたい「人権」を具体的に考え、意識し、実践を進めていくことで、手応えを持って「人権感覚」の浸透した学校づくりに取り組みました。「人権」は授業の内外を問わず、すべての生活の基盤になります。多様な他者と協働しながら成長し、主体的に関わっていく姿勢を育むことは、社会に開かれた教育課程につながっていきます。ぜひ学校の柱に「人権」というキーワードを据えてみませんか? 【教育政策課人権教育推進室】

### 三島市立山田小学校

研究主題 自己肯定感を高め、他の人も大切に育む子の育成  
~自分も大事 みんなも大事~

三島市立山田小学校では学校教育目標である「心豊かに学び合う子」念頭に人権の教育の推進を図り、以下各部の4本柱で実践を主にを行いました。

#### 授業づくり部

黒板掲示や板書のユニバーサルデザイン化、聞き方・話し方のルールの徹底  
主体的・対話的で深い学びとカリキュラムマネジメントの研究、振り返りカードの利用

#### 学級力向上部

i-check(※)を活用した集団状況の把握  
学級力リーダーチャートを用いた議題・題材づくり、具体的なルールを示した話し合い活動

#### 道徳授業部

ケースメソッド教授法の実践、人権教室の公開、道徳の授業参観・懇談の実施

#### 特別支援教育部

教育のユニバーサルデザイン化、合理的配慮、校内支援委員会の実施



自分の思いや考えを伝え合う様子

#### 研究の成果

実践を通して、学校全体の雰囲気落ち着き、子どもたちは安心して学習し、目標を意識することで最後まで頑張れる子が増えました。また対話により自信を持って課題に取り組み新しい考えを生む様子や、学級会で決まったことを守ろうと子ども同士で声を掛け合う様子が見られ、自分の思いや考えを伝えようとする力がつきました。子どもの教育的ニーズに応じた対応によって、自分でできた、分かったという体験ができたこと、特別支援教育に対する教職員の理解が進み、合理的配慮に基づく支援が浸透したことで、子どもも教職員も人権感覚が高まったと感じます。他にも校内支援委員会ではスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーをメンバーに加え、週時程の中に設定したことにより、情報の共有化、チームとして今後の対応を検討できたことは、大変有効でした。

### 県立新居高等学校

研究主題 校訓「勉学」「礼儀」「積善」を柱とした人権尊重の学校づくり  
~生徒・教職員一人ひとりに人権尊重の意識が育まれ温もりのある学校を実現するために~

新居高校では、学校教育目標「心身ともに健全なこころざしを持つ生徒の育成」を達成するために、校訓「勉学」「礼儀」「積善」の理念を生かした教育を行っています。今回の研究においては、これまでの実践を人権の視点から見つめ直し、以下に示す重点を念頭においた教育活動に取り組みました。

#### 重点

- ◆あいさつ、服装、礼儀などの基本的な生活習慣確立(1年部)
- ◆学習や部活動に主体的に取り組む姿勢の育成(2年部)
- ◆社会参加を見据えた心身の準備(3年部)
- ◆基本的人権の理解(公民科)
- ◆性差別に関する問題意識の涵養(家庭科)
- ◆情報モラル意識の向上(情報科)
- ◆自他の相違の受容と尊重(LHR、総合的な学習の時間)



車いすバスケットボールの体験

#### 具体的な取り組み

##### 【勉学】

- 教科横断的な授業見学の実施
- 授業のユニバーサルデザイン化
- 外国人生徒や学習支援を必要とする生徒への補習や学習機会の保障

##### 【礼儀】

- 人権教育週間を設定し正副担任による人権講話実施、啓発リーフレットの配布
- 登校時のあいさつ指導、定期的な身だしなみチェックを実施

##### 【積善】

- 海岸清掃や保育実習、福祉施設等でのインターンシップ
- 車椅子バスケットボールチームの選手やコーチとの交流やプレー体験
- 課題等の期限内提出指導

#### 研究の成果

新しいことに取り組むのではなく、既存の教育活動を人権教育の視点から考え整理する方針で研究に取り組みました。来校者の方から、「ほとんどの生徒があいさつしてくれる」「身だしなみがしっかりしている」とお褒めいただくことも多くなりました。学校全体に人権尊重の空気が生まれ、温もりのある空間づくりにつながったと実感しています。

\*自己認識、社会性、学級環境、生活・学習習慣のカテゴリーを把握するための質問紙調査



# 「未来の学校」夢プロジェクト

## モデル校としての役割と学校現場における業務改善の在り方

吉田町立住吉小学校 主幹教諭 柳原 学

### はじめに

現在、国全体で「教職員の働き方改革」が求められています。

### 県指定

### 「未来の学校」夢プロジェクト

本校が3年間取り組んできたこの研究は、教職員の働き方改革です。

教職員の意識改革、校務の整理、人的配置の有効活用を3つの柱として取り組みました。また、これらに加え、授業日数を増やしたり、業務の均等化を行ったりしました。

### 進めるにあたって

当初は、時間を管理されることや、教育の質が低下するのではないかとという不安から、働き方改革に関する正しい理解がなかなか進みませんでした。



プロジェクトチームの話し合いの様子

当初は、時間を管理されることや、教育の質が低下するのではないかとという不安から、働き方改革に関する正しい理解がなかなか進みませんでした。大切にする意識が高まりました。会議では、レジュームに割り当て時間を記載したり、始終時刻を守ろうと努力したりしました。提出物の期日を守ることが重要です。

また、全教職員で働き方について考え行動するために校内のプロジェクトチームを立ち上げまし

しかし、そうした先生方の不安な声も大切にしながら、研究を進めてきました。

### 教職員の意識改革

先生方の働き方に関する意識が変わらなければどんな良い取り組みも持続しません。一つ一つの取り組みについて十分に話し合い、実践につなげてきました。

### 校務の整理

意識改革だけでは、時間を生み出せないのです。校務の整理が必要です。「校務整理表」を用いて、全ての業務を分類・整理しました。特に、教員の中核業務を「授業」と「生徒指導」と設定し、「やめ



文部科学省業務改善アドバイザーの講演を伺う筆者(右端)

校務の整理		
やめる	かえる	減らす
遠足	運営委員会の在り方(委員会活動の裏で行う)	週時数(木曜日の6時間目) ※高学年は週26コマ
家庭訪問	組体操(表現運動へ)	委員会の数(1減)
夏休みのプール指導	駐車場の誘導(業者へ)	5・6年担任の分掌業務(業務の均等化)
PTAのプール当番(6年生保護者)	プール清掃(業者へ)	ステージ数 5ステージ→4ステージ
勤務時間外での教育面談(突発的でないものに限り)	部会の在り方(研修部と生徒指導部の二部制に)	印刷やデータ入力等の業務(アシスタントやSSSへ)

住吉小学校「未来の学校」夢プロジェクトのリーフレットより

合う雰囲気につながり、学校が活性化していくのだと思います。

私たちが、自分の意識と行動を変えてみましょう。きっと「なるほど、想像以上だ!」と実感していただけると思います。

### 成果と課題

成果は、先生方の授業準備の時間が確保できたことにより、教材研究が充実し、主体的・対話的で深い学びの授業に変わりました。

### おわりに

働き方改革は、先生方の時間や心のゆとりを生み出し、子どもや同僚への対応にも表れてきます。そのゆとりが互いを認め合う雰囲気につながり、学校が活性化していくのだと思います。

# 生徒の「学び」を学ぶ学年研修

浜松市立丸塚中学校 教諭 松本真美子



授業中の筆者

### 「主体的・対話的で深い学び」が起こる授業の源

「主体的・対話的で深い学び」が起こる良い授業を創造するために大切なことは何かと考えた時、単元構想の工夫や授業の工夫が挙げられるでしょう。もちろんそれは当然です。しかし、丸塚中学校では、それに加えて生徒の理解の観点からも授業改善を目指しています。

学年の教員全員で授業を参観し、教員と生徒とで授業について振り返る、そして、さらに教員同士で話し合うと3段階で研修を進めるのです。教員と生徒が授業を客観的に見つめ分析することは、他者の多様性を尊重する態度と互いの良さを生かして協働する力や人間性を育むことにつながり、生徒教員双方にとってより良い学び

を行う基本となつていきます。そして、そこでの生徒理解が、授業改善へと生かされるのです。

### 授業参観

生徒を「認め・褒め・励ます」ところはないか。丸塚中学校の研修は、今日も、先生方の優しい眼差しが授業中の生徒を見つめるところから始まります。



授業参観の様子

授業参観の後には、4人程度の小グループに1人の教員がついて今日の授業について次の5つの点

業について次の5つの点を意識して話し合います。

- ・生徒同士の相互理解を深める。
- ・協働の重要性、対話の大切さに気付かせる。
- ・実生活と今日の学びのつながりを意識させる。
- ・将来に向けての課題意識を促す。

授業者や生徒の認識の違いを明確にする。

教員が上手にコーディネートすることは、生徒は、友達の良さや困り感に気付き、次の授業をより良くしようという気持ちを持つたり、広い視野を持つたり、新しい発見がたくさん。何より教員によく話を聞いてもらえる安心感から笑顔がこぼれます。

### 生徒をよく見て授業改善を

校内研修を進める中で、目の前の生徒のことを理解すること、人間関係を耕すことが、工夫した授業を創造する基礎となり非常に重要であると考えられます。ここからより一層深い学びができる生徒を育てること、生徒理解的な視点をもって授業改善を進めることをこれからも念頭に研修を推進していければと考えています。



教員と生徒の話し合いの様子

最後は、教員同士で今日の生徒の表れを中心に話し合います。自分の授業では見せない生徒の積極性はどこから生まれるのか、最近元気がなく感じている生徒がいればその原因はどこにありそうか、担任、部活動の顧問、他教科の様子などを様々な立場・視点で考えることで、それぞれの生徒・クラスの関わり方等が分かってくる。



教員同士の話し合いの様子

vol.16

ストップセクハラ

スクールセクハラ

「スクールセクハラ」というある記者の取材をまとめた本があります。本になる程、全国的に教員による生徒へのわいせつ行為、セクハラが絶えません。本県でも残念ながら、本年度複数件発生しています。誰もが許されないと分かっているのに、何故発生してしまうのでしょうか。

実際の例では、発覚するまで生徒は我慢し続け、相談もできていません。生徒は、先生だから気を許し、文句を言わないことがあります。嫌ではないと勘違いしてはいけません。教職員一人一人が生徒の人権を尊重し、生徒との距離をしっかりと取って、疑わしい行為を疑わしい例を挙げます。

◆不必要な身体接触

◆閉鎖的空間で2人きり

◆頻りにSNSで連絡

◆異性生徒へマッサージ

◆身体特徴を話題にする

これらは、即セクハラにはなりませんが、高圧的な態度や強要を伴えば、疑わしくなります。皆さん、自分や周囲の行動を振り返ってみましょう。また、気が付いたら通報してください。

【教育総務課】

付いたら

通報してください。

【教育総務課】



# 発達障害児者支援のための 県教育委員会と県健康福祉部との連携

## 県発達障害者支援センター

### ○発達障害者支援センターとは

発達障害者支援法に基づき、全国の都道府県、政令市に設置されている機関で、県内には、県、静岡市、浜松市の3つのセンターがあります。

心理士、社会福祉士、教員、医師などの職員が、相談、発達支援・就労支援、研修、啓発、地域の支援体制構築などを行っています。相談は、子どもから成人まで、重度の知的障害を伴う自閉症の人も対象にしており、相談内容に応じて、情報提供、問題の整理、状態像や支援に関するアセスメント、対応の検討、助言、継続的な相談、訪問、関係者や他の機関との調整などを行います。原則的には、学校、地域の特別支援教育や相談、支援のシステムが効果的に機能し、身近な地域で支援が受けられるように取り組んでいます。

## 教育に関わる主な相談内容と傾向

県発達障害者支援センターには、保護者、本人、教員を含む関係者や学校、教育委員会などから、就学、学校への情報提供の仕方、学校適応、不登校、ひきこもり、学習困難、行動の問題、友人関係、対人コミュニケーション、進路、就労、診断に関すること、福祉サービスの利用、合理的配慮、指導法など様々な相談が寄せられます。特別支援学校からの行動障害を伴う自閉症に関する相談や、発達障害の当事者である保護者や教員に関する相談も含まれています。

市町の支援体制や特別支援教育のシステムの充実により、学齢期の相談は減少傾向にあります。近年は、高等学校、通信制サポート校、専門学校、大学に在籍する人の相談が増えています。

教育機関とは、支援会議や事例検討への参加、学校コンサルテーション、通常の学級への出前講座、市町及び県教育委員会の研修への企画協力や講師派遣、共同でのセミナー開催などを行ってきました。また、各種委員会、協議会への参加や、発達障害者支援地域協議会、自立支援協議会学齢部会などを通じ、県教育委員会と協力しながら体制構築、連携に努めています。

### ○発達障害者支援センターの連絡先

- ・静岡県発達障害者支援センター「あいら」(富士市以西に在住の方 ☎054-286-9038)  
(沼津市以東に在住の方 ☎055-920-2250)  
(2020年4月から、県発達障害者支援センターの体制を変更する予定です。)
- ・静岡市発達障害者支援センター「きりり」(静岡市内に在住の方 ☎054-285-1124)
- ・浜松市発達相談支援センター「ルビロ」(浜松市内に在住の方 ☎053-459-2721)

## 4月2日は「世界自閉症啓発デー」、4月2日～8日は「発達障害啓発週間」です

自閉症、発達障害のある人たちの暮らしやすさは、私たち自身の暮らしやすさでもあります。この機会に、私たちができることを、一緒に考えてみませんか？

静岡県 啓発デー 検索

【県健康福祉部障害福祉課・  
県発達障害者支援センター】



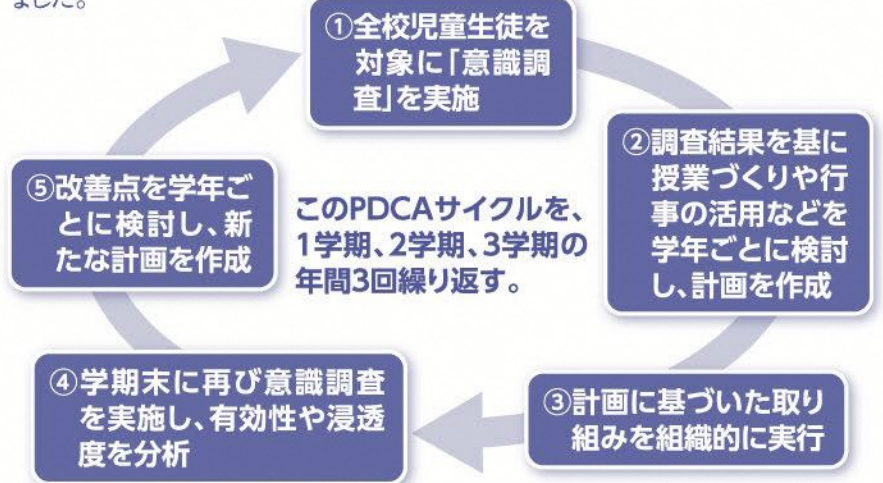
# すべての子どもにとって魅力ある学校づくり ～御殿場市立西中学校区 同一校区の幼保小中で取り組む不登校未然防止～

近年、不登校の児童生徒は全国的に増加傾向にあり、県でも喫緊の課題となっています。不登校の児童生徒の約半数は、今まで登校できていたのに、急に登校できなくなる新たな不登校の児童生徒(以下 新規不登校者)となっております。そのため不登校状態にある児童生徒への丁寧な自立支援と合わせ、新規不登校者を抑制するための未然防止の取り組みが重要となります。

御殿場市では、西中学校区をモデル校区に指定し、幼保小中の連携の充実と授業改善を軸に、校区が一体となって魅力ある学校づくりに取り組んできました。

## 児童生留意識調査とPDCAサイクル

意識調査を行い、「授業に主体的に取り組んでいる」という質問に「当てはまる」と回答する児童生徒の割合が低いという結果が出ました。「児童生徒が主体的に取り組む授業を継続的に進めることで、授業が楽しくなり、学校に魅力を感じ、新規不登校者が減少するだろう」という共通の研究仮説の基、研究に取り組みました。



## 計画的・継続的に取り組むことで不登校者数が減少

意識調査の結果に基づく話し合いの繰り返し、職員の同僚性を向上させ、実効性のある具体的な取り組みを促進します。現在までの3年間で合計8回の意識調査を行い、授業改善に努めてきました。

その結果、意識調査の「授業に主体的に取り組んでいる」の数値は、各校とも増加してきました。新規不登校者数が年々減少傾向となり、不登校児童生徒総数も減少しています。これからも本事業の価値を共有し、全ての児童生徒にとって魅力ある学校づくりに取り組んでいきたいと思ひます。



玉穂小学校・印野小学校合同の外国語活動の授業の様子

【静岡教育事務所】

# 「安心・安全な学校を目指して」 伊東市・袋井市における学校安全(交通安全)の取り組み

県教育委員会では、文部科学省の委託事業である学校安全総合支援事業を活用し、学校種・地域の特性に応じた地域全体での学校安全推進体制の構築を支援してきました。

平成30年度は、伊東市と袋井市が本事業を活用し、外部専門家の招聘や関係機関との連携など、学校安全に係る対策の充実や改善を図ってきました。

児童生徒の安全確保には、全ての教職員が十分な知識や意識を備えて学校安全に取り組まなければなりません。伊東市と袋井市の取り組みを参考にしながら、あなたの学校の学校安全の取り組みを進めていきませんか。

## 伊東市の取り組み(交通安全)

### ○取組内容

- ・外部専門家を招き、各校における学校安全の取り組みを推進するための中核となる教職員(中核教員)を対象とした研修及びヒヤリハット・マップ作り。
- ・外部専門家や関係機関と連携した通学路合同点検の実施。



【通学路合同点検対策検討会】

### ○成果

- ・中核教員がそれぞれの学校で安全対策・安全教育について広めていく体制作りができた。
- ・これまで事故になりそうな経験をしていても、家族や教員等に話をしなかった子どもたちが、その経験を周りに伝えていくことがみんなの交通安全につながるという考えを持つようになった。
- ・外部専門家から「合同点検への地域住民の参加」、「危険箇所抽出時のポイント」など、さまざまなアドバイスをいただいた。

## 袋井市の取り組み(交通安全)

### ○取り組み内容

- ・市として小中一貫教育を進めていく中で、小中学校が連携した学校安全の取り組みの推進。
- ・外部専門家を招き、危機管理マニュアルの見直し及び交通安全教室の実施。



【交通安全教室】

### ○成果

- ・小中学校が情報交換することで、目指す子ども像を共有し、学校安全教育の系統的な仕組みが構築された。
- ・専門的な知見を活用した危機管理マニュアルの見直しを行ったことで、より機能的で実践的なものになった。
- ・外部専門家から「子どもだからこそ分かる危険に対する視点」、「子ども目線の資料の重要性」など、さまざまなアドバイスをいただいた。

伊東市・袋井市の取り組み及び事業の詳細はホームページで公開しています。

HP <https://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-120/tugakuro.html> 【健康体育課】

# 小中学校における共同学校事務室の設置

県教育委員会では平成30年度より、5市町(裾野市、小山町、焼津市、牧之原市、御前崎市)のモデル地区で公立小中学校(政令指定都市を除く)の共同学校事務室の試行を開始しています。

### ○共同学校事務室とは?

日常は各校で勤務している学校事務職員が、週1回程度1つの学校に集まり、事務処理の効率化や事務職員の人材育成等を行っています。平成29年3月に地方教育行政法の一部改正により「共同学校事務室」として制度化されました。

### ○モデル地区の共同学校事務室では?

各学校の給与、総務、教員支援事務を共同で行うため、各地区の学校事務職員をそれぞれチームに分け、共同学校事務室に書類を持ち込み、全員で書類の作成や確認等を行います。今回は焼津市と御前崎市の共同学校事務室を紹介します。



焼津市共同学校事務室



御前崎市共同学校事務室

焼津市の共同学校事務室は焼津中学校3階にあります。全校兼務発令により市内の学校事務職員は各校の事務を共同で確認したり、入力作業をしたりすることができるようになりました。

御前崎市では、週1回火曜日の午前中を原則として、事務室のある御前崎第一小学校に集まり、各チームに分かれて事務処理を行っています。机や椅子だけでなく、パソコンを活用した教育ネットワーク等も利用できる環境が整えられました。

### ○共同学校事務室指針の作成

県教育委員会では、モデル地区の状況を踏まえ、平成30年9月に共同学校事務室の設置に関する指針を作成し、各市町に通知しました。平成31年度からは多くの市町で共同学校事務室が本格導入される予定です。学校事務職員がより効果的に学校経営に参画できるよう、共同学校事務室の設置による学校事務の再編と人材育成の強化を図り、教員が児童生徒に向き合う時間の確保につなげるとともに、学校の教育力・組織力の向上を目指します。



給食をみんなで食べている様子

【義務教育課】



## 総合教育センター **次世代の学校リーダーに向けた、キャリアデザインとリーダーシップ経験の機会提供** — 平成30年度 キャリアアップ研修 —

総合教育センターは、40代の公立学校の教諭、養護教諭及び栄養教諭のうち、校長が推薦する者を対象として、「次世代の学校マネジメントの主体としてマネジメント能力を高め、組織の在り方や自己の役割について認識を深めるとともに、教育公務員としての自覚を新たにす」ための研修を実施しました。キャリア(仕事人生)は、常に自分の意志だけで決定することはできませんが、節目を設け、学校や社会における役割を自覚しながら、自己のキャリアを自ら設計することで、学校リーダーとして、自分らしいキャリアを歩むことができます。

### 1年間の研修プログラム

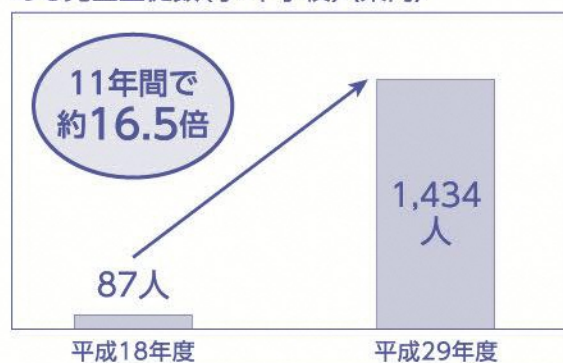
I期(6月)	選択実践	II期(2月)
わたしの強みを生かし、誰と何をしたいのか。 Think about your strength. Imagine what you would like to do and who you would like to work with?		
<p>■現在と未来の自分と学校 I —キャリアの振り返り—</p> <p>■今学んでおきたい学校マネジメントの基礎</p> <p>■学び合う教職員集団</p> <p>最も成長した経験を振り返りながら、教員の成長にとって、仕事経験と他者の存在が重要であることを理解します。 学校マネジメントの着眼点(ビジョンづくり、組織活性化など)を学んだ上で、学び合う教職員集団における自己の役割について考えます。</p>	<p>A メンタリングサークル活動</p> <p>B 校内又は地域における協働プロジェクト</p> <p>C 中堅教諭等資質向上研修の助言者</p> <p>A~Cの中から1つを選択し、リーダーシップ経験としての実践を企画、運営、実施します(※)。</p>	<p>■コンプライアンス</p> <p>■選択実践発表</p> <p>■これからの学校教育の方向性</p> <p>■現在と未来の自分と学校 II —キャリアの展望—</p> <p>「知りながら書をなすな」など、コンプライアンスに関する事項や、これから学校において、「変えなくてはならないもの」と「変えてはならないもの」について、研修員同士で対話します。 また、選択した実践について研修員同士で情報交換会を行い、改めて自身の強みを生かし、誰と何をしていくのかについて考えます。</p>
<p>(※)次世代の学校リーダーには、学び合う教職員集団を創る、マネジメント能力の向上が必要であり、そのためには失敗を恐れず、そうした学び合いのリーダーシップ経験を積み重ねていくことが重要です。</p>		

## 「発達障害を対象とした通級指導教室のスタートブック」を発行します



発達障害を対象とした通級指導教室担当の専門性の確保・指導力の向上は喫緊の課題です。

通級による指導を受けている発達障害のある児童生徒数(小・中学校)〈県内〉



通級指導担当だけでなく、全教職員にお読みいただきたい1冊です。



センターが2年かけて研究した**成果**がこの1冊に詰まっています。

### 注目すべき内容

- 〈第3章〉障害の状態に応じた指導事例  
⇒研究協力校及び高等学校での実践から得られた指導事例(11事例)をまとめました。
- 〈第4章〉自立活動の指導  
⇒学習上、生活上のさまざまな困難を改善、克服することがねらいです。  
指導内容を設定するまでの過程について「流れ図」を提示し、指導を組み立てる際の要点を明示しました。

静岡県総合教育センター 検索

## 学び続ける教職員へ ~参加者募集中~

### プラネタリウム 春休み特別開放

季節の星空を見上げてみよう!たくさんの星や星座が輝いています。季節ごとの星座の探し方を覚えれば、誰でも簡単に夜空を楽しむことができるようになります。小さいお子様でも大丈夫☆星座の世界へ一緒に出掛けましょう! 〈上映テーマ:春星座の探し方と神話 など〉

- 実施日 平成31年3月30日(土)・31日(日)  
1部/13:15~14:30 2部/15:00~16:15
- 会場 静岡県立朝霧野外活動センター プラネタリウム室
- 定員 各回90人(事前予約・先着順 定員に達し次第締切)
- 費用 1家族・1グループ(8人まで) 500円
- 問い合わせ先 静岡県立朝霧野外活動センター ☎0544(52)0321  
HP <http://asagiri.camping.or.jp/>

### 「ふじのくに芸術祭2019」演劇コンクール県民審査員募集

県内のアマチュア演劇団体による演劇コンクールの開催に当たり、参加団体の公演を観劇し、審査していただく県民審査員を募集しています。

- 募集期間 平成31年4月7日(日)まで
- 定員 4人程度(応募多数の場合は抽選)
- 内容 6月から12月にかけて上演される県内アマチュア演劇団体の公演を観て審査評を記入します。(平成30年度5公演)12月の合同審査会で県演劇協会の審査員とともに賞を決定します。(旅費支給)
- 申込方法 住所、氏名、年齢、電話番号、職業、応募動機、鑑賞歴を記入し葉書またはEメールでの申し込み。
- 申し込み先 〒432-8023 浜松市中区鴨江3-14-18  
ふじのくに芸術祭演劇コンクール事務局 布施宛  
Eメール [fuse98@r9.dion.ne.jp](mailto:fuse98@r9.dion.ne.jp)

## 学校や事務局から「同窓会」「保護者会」「後援会」等への大量発送に!

# Sコムメール便

# 安価×確実にお届けします

- 静岡県から県内・県外へお届け
- 500通以上から集荷
- 宛名ラベル・封筒の作成
- 封入封緘作業
- コールセンター対応



見積・プラン提出無料

ご担当者様

昨今、人材不足を背景に「ゆうメール」「大手宅配会社のメール便」料金の値上げや集荷サービス停止により、事務局担当者の負担が大きくなっています。静岡新聞・静岡放送グループの(株)SBSコミュニケーションズが運営する「Sコムメール便」は、新聞販売店等の独自の配達体制により安価で確実な発送をお約束します。先ずは、お気軽にお問い合わせください。

株式会社 SBS コミュニケーションズ TEL 053-458-1100 E-mail: [h-okamoto@sbscom.jp](mailto:h-okamoto@sbscom.jp) 担当者:岡本